

作業途中

第5回えべつ未来市民会議

「暮らし・定住部会」（平成24.5.16）

	短期(すぐにでも)				中期(5年程度)				長期(10年程度)	
ハード	学校の早急な耐震化	職場内保育園の開設	小中高大の連携、中高一貫校やコミュニティ立学校などの設置	学生街特区というのがあるてもよいのではないが	地価を抑えて若年層にも購入しやすくする取り組みが必要	市営住宅の改修による空室対策	市内のバスの外装や停車ボタンの音などでえべつチェーンを活用	往診診療の実施（豊幌）	統廃合よりも学校を中心としたまちづくりのネットワーク構築	
	老朽化した小中学校の耐震化、または建て替えを検討すべき	待機児童の解消	病児・病後保育の充実	共稼ぎの世帯でもきちんと子育てできる支援施設の増設	《第5回追加》一時預かり事業で未満児を受け入れる保育所を増やすべき	ミニFM局の開設	天気予報の気温が低く表示されるため観測地点を移動	大麻地区の空き地、空き家対策が必要	小学校の統廃合は江別駅周辺の開発と同時に一体的に行うことが必要	
ソフト	《第5回追加》「子育て支援の街」を印象付けられる子どもたちの集えるシンボリックな建物	認定こども園の増設が必要	放課後の教育環境の充実	《第5回追加》市全体として統一して学童保育の時間を延長すべき	《第5回追加》児童会の定員拡大と学童保育自体の魅力の向上	大麻地区の空き家対策	札幌にない住環境の良さをさらに伸ばす	空き教室の有効活用による地域住民との交流	進学校が必要	
	医療費負担の軽減	教育特区による学力、スポーツ、音楽などで魅力的な学校づくり	働いている母親をフォローするような行政の関わりが重要	《第5回追加》学童保育の運営主体によって受入れ可能時間が異なり利用しにくい	子どもが安全に遊べるような公園の防犯対策	大麻地区の高齢化対策	大麻地区の少子高齢化対策が必要	土日の予防接種の実施	子どもと定住する場合の家賃無料化	
【枠外】	働きながら子どもを産んで育てられる街	《第5回追加》障がいの疑いのある子への支援体制について、わかりやすく紹介すべき	《第5回追加》障がい児保育の更なる充実	新聞、テレビでのPR	転入者へ江別居住の理由を調査し、江別の長所を探る	まち全体で何かに取り組み、その取り組みで江別をPR	札幌郊外より江別市の方が住みやすいと広報する	独自の取り組みで高校生の市外流出を防ぎ、市外から呼び込む	婚活イベントを開催し、結婚した人に手当を支給	
	大麻地区が将来消滅するのではないかという危機感が地元にある	江別に住み始めた人への江別の地域情報の発信	イベント、公共施設、大学開放などの情報の共有・ネットワーク化	江別を知ってもらいたい遊びに来てもらうための情報発信	学校開放の利用窓口のPR	知られていない海外の都市との姉妹提携による江別のPR	市内の公園それぞれの特色やトイレの様子をまとめたマップづくり	《第5回追加》札幌や道などの後追いでではなく、江別の独自性のある子育て施策が必要	札幌市に住んでいるという方が聞こえがよい	
		江別に住んでもらうための生活情報の発信	市内イベント等の積極的な周知	「江別」のブランドイメージをつくり、そのイメージを発信	公共施設の耐震化などを公表し、江別の安全性をアピール	予防接種のような重要な情報は自治会回覧ではなく個別に情報発信	小中学生の優れたスポーツ芸術活動の情報発信	医療費助成の年齢の拡大	優秀な人材の確保	
ハートづくり	消防のレスキューマンによるPR	ママさんのネットワークを市が情報発信に活用	環境重視のまちづくりを進め、エコのイメージを発信	イベントの実施予定をごみ収集カレンダーに記載	《第5回追加》「障がい児保育」ではなく「特別支援保育」と名称変更してはどうか	情報発信源に情報図書館を活用			教師の指導力の向上が必要	
	【枠外】	子どもをいっぱい産んで育てたいと思えるような街に	河川防災ステーションのネーミングを全国に募集し江別をPR	えべつチェーンの歴史をれんがの歴史にあわせてつくり江別をPR	特認校である野幌小学校の特色を活用				子育て環境の充実に向けて、ただお金をつぎ込むだけでは駄目	
	大学生はアルバイト先がないため札幌に住む	安全・安心をテーマにしたシニアプロモートの実施		学校の統廃合は子どもが困らないように配慮	《第5回追加》民間保育園へ保育士を加配				進学校が札幌に劣るため、札幌に行ってしまうと江別に戻らない	